建築物に係る解体工事

変更 箇所	分別解体等の計画等											
1771	建築物の構造 □木造 □鉄骨			□鉄骨鉄筋コンクリート造  □鉛			失筋コンクリート造 その他( ) )					
	建築物に	建築物の状況	築年数 その他(	年、棟数	棟			)				
	関する調査の結果	周辺状況	周辺には	ある施設: □住宅 □商業施設 □学校 □病院 □その他( )								
				建築物に関する調査の結果			工事着手前に実施する措置の内容					
		作業場所	作業場所での他(	所:□十分 □不十分								
		搬出経路	障害物:	□有( ) □無 8の幅員:約 <u>m</u> □有 □無								
		残存物品	□有(	)								
	関する調 査の結果 工前に実施	特定建設資材への付着物	□無□無	□飛散性石綿 (吹付け石綿、石綿含有断熱材、保温材等) □非飛散性石綿 □石綿含有仕上塗材 使用面積 m² □石綿含有成型板等 使用面積 m² □その他(			大気汚染防止法・安全衛生法石綿則、 大阪府生活環境の保全等に関する条例 に基づく届出について □届出済 □届出予定 □届出対象外					
	する措置の内容	その他 特定建設資材に 付着していない、 解体時に発生す る有害物質	□無□無□無	□飛散性石綿 (吹付け石綿、石綿含有断熱材、保温材等) □非飛散性石綿 □石綿含有仕上塗材 使用面積 m² □石綿含有成型板等 使用面積 m² □その他( )			大気汚染防止法・安全衛生法石綿則、 大阪府生活環境の保全等に関する条例 に基づく届出について □届出済 □届出予定 □届出対象外					
		フロン	□有 (業務用のエアコン・冷凍冷蔵機器のうち フロン類が使われているもの) □無									
	工工程		$\square m$	作業内容			分別解体等の方法					
	程ごとの	突設備・内装材等	Ť Ť	建築設備・内装材等の □有 □無	取り外し				戒作業の 理由(	)併用	)	
	作 業 内	ほふき材		屋根ふき材の取り外し □有 □無			□手作業 □手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()					
	容及多外数	長材・上部構造部	<b>『</b> 分	外装材・上部構造部分の取り壊し □有 □無 基礎・基礎ぐいの取り壊し			□手作業					
	び 4 基礎						<ul><li>□手作業・機械作業の併用</li><li>□手作業</li></ul>					
	体 方 (5)その 法	)他	`	□有 □無 その他の取り壊し			□手作業・機械作業の併用 □手作業 □手作業・機械作業の併用					
	工事の工程の順序			□				序				
	内装材に木材が含まれる場合			□ このに								
				不可の場合の理由:								
	建築物に用い	られた建設資材の量	量の見込み	<b>托</b> 籽		トン	₹\	を出ぶ日	コナムフ	カルへの	.)	
	廃 特定領	建設資材廃棄物 量の見込み	の種類	種類□コンクリート塊	量の見込み	トン		<b>全が見</b> □②	.込まれる □③	部分(注 □④		
	発 及び 生 その発	き生が見込まれる	5建築物	□アスファルト・コンクリート塊		トン						
	込	見 の部分 込		□建設発生木材		トン		$\square$ 2		<b>4</b>		
	量 ———			(注) ①建築設備・内装材等	②屋根ふき材 ③外	\装材∙	•上部構造	造部分 (	<ul><li>④基礎・基礎・</li></ul>	遊ぐい ⑤	うその他	
	備考											